

ベルランド総合病院 広報誌

Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに学べるチーム

特集

医療最前線
-不整脈疾患内科-

連載

登録医のご紹介

Topics

- ・診療看護師について
- ・緩和ケア懇話会のご報告
- ・大規模災害訓練のご報告
- ・がん薬物療法研修会のご報告
- ・セミナー開催情報

91
2026.spring
TAKE
FREE

不整脈疾患内科の新設にあたって

このたび、ベルランド総合病院循環器内科に新たに「不整脈疾患内科」が立ち上がり、その責任者を務めさせていただくことになりました坂本祥吾です。

不整脈とは

「不整脈」とは脈の異常をまとめた総称であり、実際には多くの種類があります。医師でも苦手とする分野ですが、大きくは脈が遅くなる「徐脈」と速くなる「頻脈」に分けられます。

徐脈の治療

徐脈に対しては主にペースメーカーの植え込みを行います。近年はリード(電線)のないペースメーカーも登場し、従来のリードあり機器と遜色ない性能を持つまで進化しています。機種を選択肢が増えた分、より高度な専門知識が求められます。患者さんは機械と一生付き合うことになりますので、一人ひとりに最適な機器を選べるよう努めています。また、万が一感染などが生じた場合にも、レーザーを用いたデバイス除去術(全国約100施設でのみ実施可能)を行うことができます。

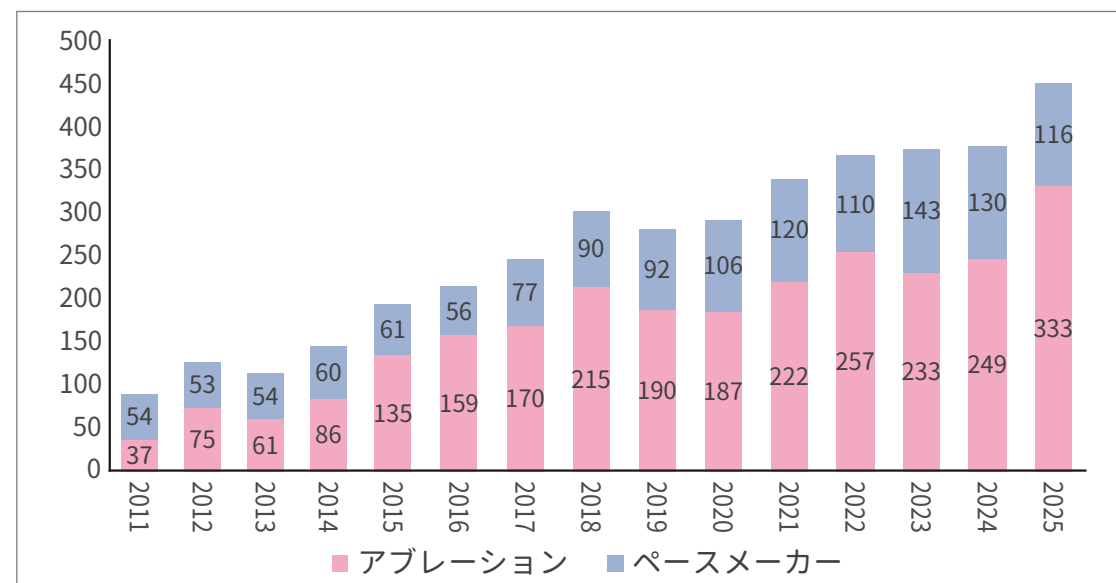


リードレスペースメーカー

画像提供:日本メドトロニック株式会社

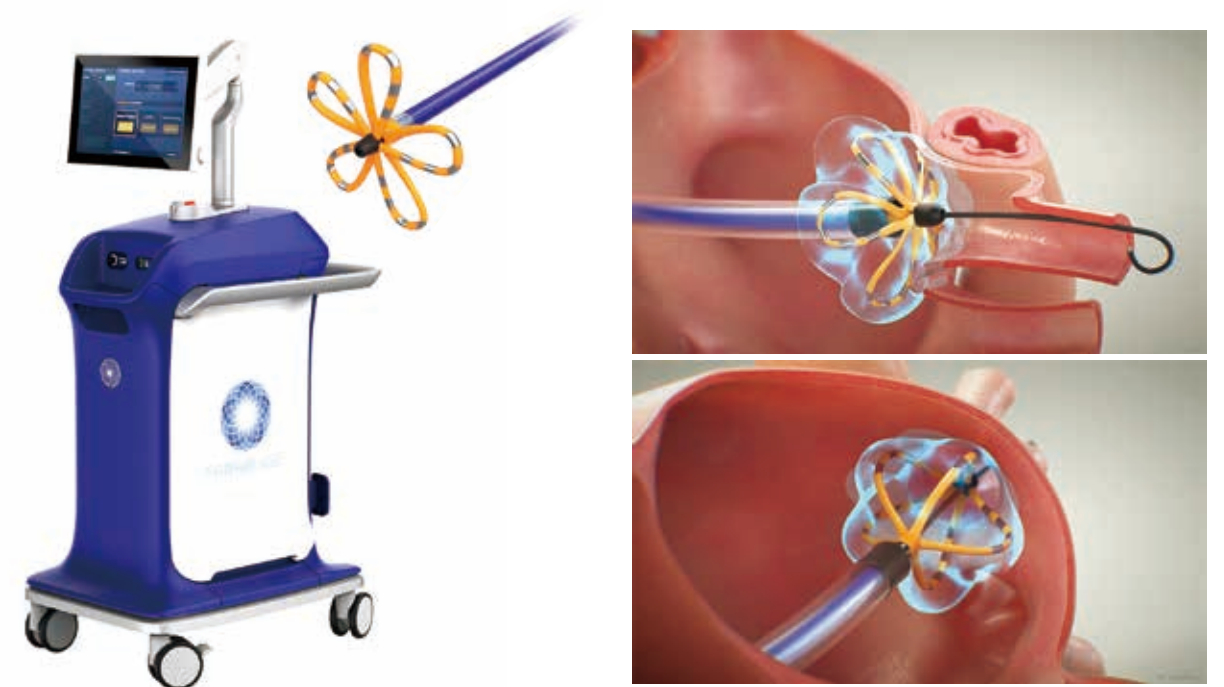
頻脈の治療

一方、頻脈に対しては、主に心房細動へのカテーテルアブレーション治療を行っています。心不全の予防や予後改善に有効であることが次々と証明され、全国的にも手術件数が急増しています。当院でも症例数が年々増加しています。2025年からは最新の「パルスフィールドアブレーション(高電圧治療)」を導入し、従来の焼灼や冷凍治療に比べ安全性が高く、患者さんの負担も軽減されています。現在は第一選択の治療として積極的に行っています。



アブレーションとデバイス治療件数の推移

© 2025 Boston Scientific Corporation. All rights reserved



パルスフィールドアブレーション(高電圧治療)コンソール・治療イメージ図



不整脈チーム

さらに、致死性の心室頻拍に対しても、アブレーションと植込み型除細動器を組み合わせた専門的な治療も行っており、「不整脈」と呼ばれるほぼ全ての病気に対して対応できるように努めております。

高齢化の進展とともに、不整脈の患者さんは今後も増加が見込まれます。当院では医師をはじめ、臨床工学技士やデバイス認定看護師が一体となり、チーム医療で最善の治療を提供してまいります。



不整脈疾患内科 部長

さかもと しょうご
坂本 祥吾

専門領域

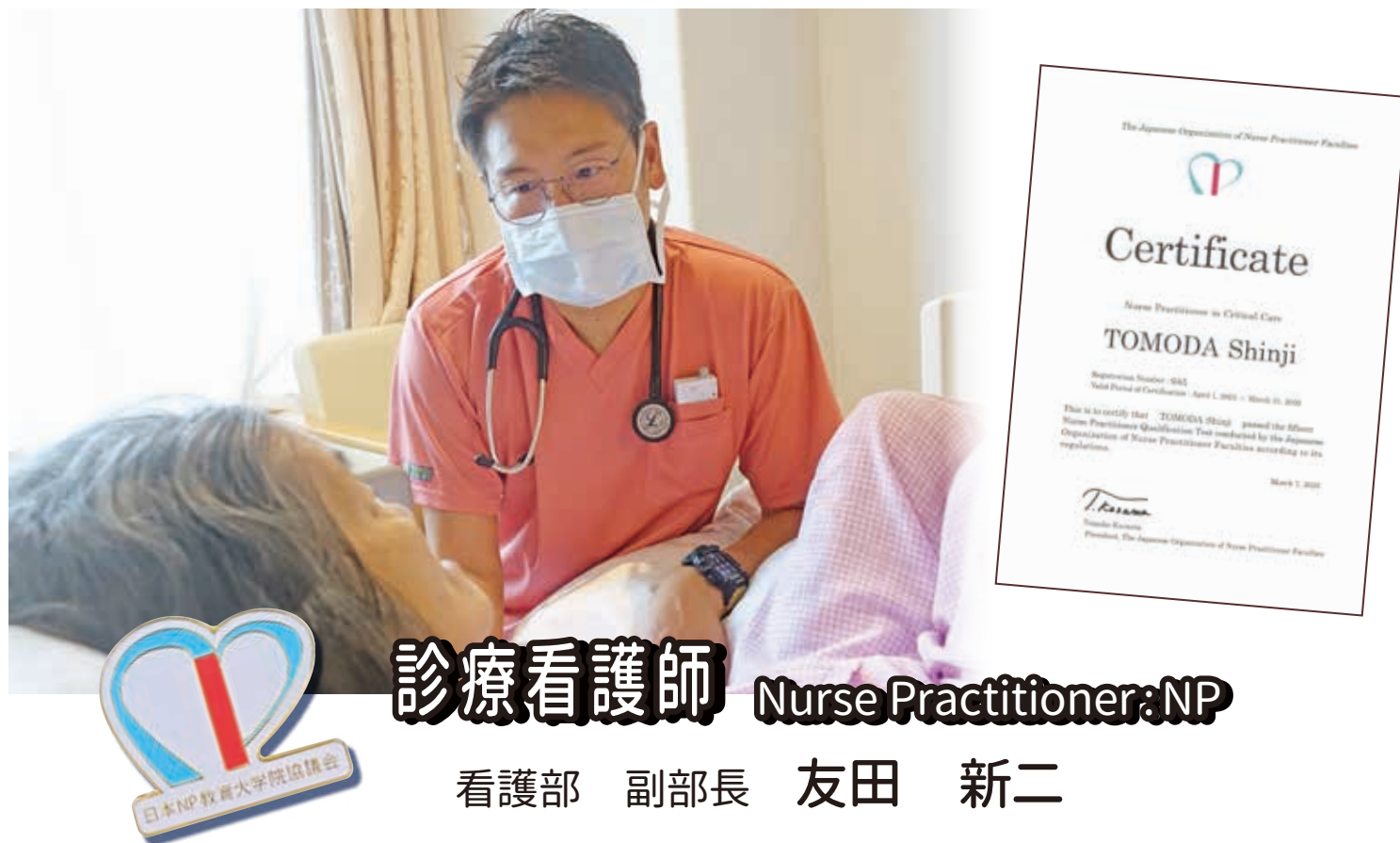
不整脈疾患 冠動脈疾患

資格等

日本内科学会：総合内科専門医
日本循環器学会：専門医
経皮的左心耳閉鎖術実施医
日本心血管インターベンション治療学会：認定医
日本不整脈心電学会：専門医
植込み型除細動器／ペースングによる心不全治療研修終了医
着型自動除細動器(WCD)処方資格
リードレスペースメーカー植込み資格
皮下植込み型除細動器(S-ICD)植込み資格
エキシマレーザー・Evolution(非レーザー)心内リード除去資格
医学博士

略歴

2006年 島根大学 医学部医学科 卒業
2006年 和歌山県立医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
2008年 大阪市立大学附属病院 循環器内科 医員
2010年 ベルランド総合病院 循環器内科 医長
2012年 大阪市立大学大学院医学研究科 大学院入学
2015年 ベルランド総合病院 循環器内科 医長
2016年 大阪市立大学大学院医学研究科 大学院卒業
2019年 ベルランド総合病院 循環器内科 副部長
2025年 ベルランド総合病院 不整脈疾患内科 部長



診療看護師 Nurse Practitioner:NP

看護部 副部長 友田 新二

この度、大学院における2年課程を修了し、認定試験に無事合格したことで、「診療看護師(Nurse Practitioner:NP)」の資格を取得致しました。

本資格は、看護師として5年以上の実務経験を有し、指定された大学院修士課程(NP養成課程)において2年間の教育を受け、日本NP教育大学院協議会が実施する認定試験に合格することで取得できる称号です。NP制度は、1965年にアメリカ・コロラド大学のロレッタ・フォード(Loretta Ford)氏によって創設されたことに始まり、現在アメリカでは国家資格として約38万人以上がNP免許を取得し、医療現場で活躍しています。また、世界各国においてもNP制度が導入され、育成が進められています。

日本では2008年に大分県立看護科学大学が日本初のNP教育課程を開始し、現在では全国に19のNP養成大学院が存在しています。

2024年4月には医師の働き方改革関連法が施行され、今後ますます医療現場におけるタスク・シフト／シェアが重要視されることが予想されます。そうした中で、NPの活動はチーム医療の質向上や医師の業務負担軽減に寄与する存在として、各医療機関にとっても大きな意義を持つと考えています。一方で、日本におけるNPの人数は、2025年4月現在でようやく1,000人を超えた程度であり、大阪府下では50名にも満たないのが現状です。認知度も含め、まだ十分とは言えません。しかし、柔軟な姿勢と新たな挑戦を大切にすると法人だからこそ、今後さらにNPとして活躍できる場が広がっていくものと強く感じています。

左：友田看護副部長



現在、私は急病救急部を中心に、初療対応や入院患者の管理などを、指導医のもとで実践させて頂いています。初期診療においては、臨床推論を基盤に、患者に生じている病態アセスメント、必要な看護介入、患者のニーズ充足に向けたアプローチなどを検討し、これまで以上に多角的な視点で、「病気」と「健康」を捉える難しさを感じながら研修を続けています。また、縫合処置や高度気道管理、各種カテーテル確保さらには手術介助といった医療行為に加え、画像評価や薬理学的アプローチなど、さまざまな経験を積ませて頂いています。

入院患者対応においては、病態管理のみならず、多職種カンファレンスを通じて治療および看護の目標を再構築することや、在宅療養へ移行する患者に対して、施設医・訪問看護ステーション・ケアマネージャー等と連携した退院支援カンファレンスに参加するなど、幅広い経験を重ねています。

今後も、院長・看護部長をはじめとする各診療部門、看護部、そして多職種の皆さまからのご協力とご支援を頂きながら、「新たな看護師のカ・タ・チ」を創造していきたいと考えています。



(患者さんの掲載許諾を得ています)

登録医のご紹介

WEB予約
対応

オンライン
診療対応



ななほしクリニック

☎072-288-6170

2024年5月1日にグランドオープンした
メディカルスクエア初芝駅前の
クリニックを順次ご紹介します！

星 座：牡羊座
血液型：A型
趣 味：子供と遊ぶこと



院長 くめがわ しんじ
久米川 真治 先生

Q1. 標榜科は何ですか？

形成外科 皮膚科 婦人科 美容皮膚科

Q2. 医師を目指した動機(きっかけ)は？

高校生の時にサッカーをしているときにけがをして、その時診
てもらった先生との交流がきっかけです。

Q3. 診察する際に心掛けている事は何ですか？

話をよく聞く。

Q4. 地域医療について

医師にとって患者様は大勢いるかもしれませんが、でも、患者様
にとって担当医はたった一人。その気持ちを大切にしながら、地
域のみなさんに安心して頼っていただける医療をめざしていま
す。

Q5. 当院への希望・要望

外傷などでお願いすることが多いため緊急での対応になってし
まいますがよろしくお願いします。

Q6. 最後に一言お願いします

患者様により良い生活を届ける医療を、みんなの手で楽しく、
そして誇りあるものにしていきましょう。

休 診 日： 祝日・日曜日

住 所： 〒599-8114

大阪府堺市東区日置荘西町4丁35-10
メディカルスクエア初芝駅前203

最 寄 駅： 南海高野線「初芝駅」

U R L： <https://nanahoshi-cl.com/>

【予約優先制】形成外科・皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	△
13:00～16:00 (手術のみ)	●	●	●	●	●	●	△
16:00～19:00	●	●	△	●	●	△	△

【完全予約制】美容皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	△
13:00～16:00	●	●	●	●	●	●	△
16:00～19:00	●	●	△	●	●	△	△

【完全予約制】婦人科 ※女性医師が担当

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30～13:30	△	●	△	●	△	△	△

・予約優先制
・受付終了時間は診療時間30分前
休診日：祝日・日曜日

新規登録医

登録医件数 **495** 件 (2026年1月現在)

北 区	しらさぎフジタクリニック	ふじた しゅうさく 藤田 周作 先生	河内長野市	三軒医院	さんげん ひさよし 三軒 久義 先生
河内長野市	ながい泌尿器科クリニック	ながい やすはる 永井 康晴 先生	河内長野市	しらさかハートクリニック	しらさか あきひろ 白坂 明広 先生

医療従事者向けセミナー

第1回 堺Ortho-Link Seminar

詳細はこちら



日 時 3月7日(土) 16:00～17:15

会 場 ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

製品紹介

ジクトルテープ75mg 久光製薬株式会社

講演

座長 ベルランド総合病院 副院長/総合整形外科 部長 村瀬 剛

「肩疾患の治療
～不安定症・腱板断裂・変形性関節症の治療アルゴリズム～」
ベルランド総合病院 総合整形外科 医長 中井 秀和

「肩疾患のリハビリテーション」
大阪けいさつ病院 理学療法士 米永 涼太郎 先生

申込

WEBフォームよりお申し込みください。
申込締切 **2月28日(土)**



大阪府医師生涯研修 CC:61(関節痛) 1.0単位 申請中です。

第29回ベルランド地域医療懇話会

日 時 9月26日(土) 15:00～

会 場 ホテル アゴーラリージェンシー大阪堺
4F ロイヤルホール
〒590-0985 大阪府堺市堺区戎島町 4-45-1
☎072-224-1121

15:00～ 第一部 当院診療科のご案内

16:30～ 第二部 情報交換会

2025年度 緩和ケア懇話会

緩和ケアの療養のひろがりとは職種連携

11月15日(土) 会場:ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

- 第1部** ●講演
「真夜中の緩和ケア ～不眠・せん妄のもつれた糸を紐解く道標～」
ベルランド総合病院 緩和ケア科部長 山崎 圭一
- 第2部** ●事例検討
「最期の時を支える地域多職種連携」
いのうえ在宅診療所 院長 井上 稔也 先生
- 意見交換会

去る11月15日に地域の医療・福祉関係者の「顔の見える関係の構築と連携」をより一層強化することを目的に緩和ケア懇話会を開催しました。

第1部では私、山崎が、実臨床において病院でも在宅でも症状緩和で困る不眠とせん妄について、「真夜中の緩和ケア～不眠・せん妄のもつれた糸を紐解く道標～」と題して講演させて頂きました。

また第2部では「最期の時を支える地域多職種連携」と題して、いのうえ在宅診療所 井上 稔也先生に実際の事例を提示して頂き、その内容をもとに

グループディスカッションを行いました。立場の異なる参加者がそれぞれの視点で意見を交わし、現場に直結する、非常に密度の濃い議論となりました。

人類がこれまで経験したことのない多死小産社会を迎え、がんでも非がんでも、病院だけでなく地域全体で支える体制が求められています。そのためには「顔の見える関係」が必要であり、本会を通じて、「顔の見える関係」から「顔を見れば相手のことが分かるような関係」を形成できるように、今後こうした懇話会を継続していきたいと思っています。

緩和ケア科 部長 山崎 圭一



ベルランド総合病院
緩和ケア科部長 山崎 圭一



いのうえ在宅診療所 院長
井上 稔也 先生



第2部
グループディスカッションの様子

緩和ケア 関連セミナー情報

2/8

詳細ページ



厚生労働省委託事業
令和7年度人生の最終段階における医療体制整備事業
**患者の意向を尊重した
意思決定のための相談員研修会**

日時 9:00 ～ 17:45 (8:30受付開始)

会場 ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

参加資格 以下の条件を満たす
医療機関、看護ステーション、介護老人福祉施設等の従事者

- 各医療機関等において、人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定に携わっていること。
- 上記の医療従事者は、原則として、研修会受講時点において、人生の最終段階における医療・ケアに携わる医療従事者としての経験が3年以上であり、かつ研修終了後も引き続き、当該医療・ケアに携わる予定であること。
- 研修終了後、本事業に協力し、各医療機関等において「人生の最終段階における患者の意向を尊重した意思決定支援」を実践すること。
- 本研修会を修了したことについて、厚生労働省及び都道府県担当課に対して、氏名、所属及び連絡先と併せて報告することに同意すること。

2/28

詳細ページ



令和7年度 大阪府在宅医療普及促進事業
**暮らしの中の患者を支える
～多職種でつくる医療とケアの地域ネットワーク～**

日時 14:00 ～ 17:00

会場 ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

司会・進行 ベルランド総合病院 緩和ケア科
部長 山崎 圭一

講演 社会福祉法人 四ツ葉会
主任介護支援専門員 大河内 章三 先生

かわベクリニック
看護師 川邊 綾香 先生
院長 川邊 正和 先生

申込フォーム



申込締切
2月21日(土)

2025年度 第2回 がん薬物療法研修会

2025年11月1日(土)
ベルランド総合病院 地下1階 AIFホール

講演Ⅰ

「多職種連携チーム医療による 免疫関連有害事象(irAE)対策」

ベルランド総合病院 包括的がん診療センター
センター長 福岡 和也

11月1日、薬局薬剤師をはじめとした医療従事者を対象に2025年度第2回がん薬物療法研修会を開催しました。今回は、包括的がん診療センター福岡 和也センター長より「他職種連携チームによる免疫関連有害事象(irAE)対策」、栄養管理室柳 絢子栄養士より「がん化学療法における管理栄養士の役割」について講演いただきました。いずれの講演も最新の知見に加え、日々の診療で生じる疑問への助言が得られる内容で、参加者にとって職種間の相互理解を深める貴重な機会となりました。

がん化学療法は今後ますます外来での治療が中心となることから、院内のみならず地域の医療機関との連携強化が重要です。当院の外来がん治療の有効性・安全性の向上をめざし、本研修会を継続し、協力体制をさらに充実させていきたいと考えています。

薬剤部 主任 田川 優介

講演Ⅱ

「がん化学療法における 管理栄養士の役割」

ベルランド総合病院 栄養管理室
柳 絢子



包括的がん診療センター センター長 福岡 和也



栄養管理室 管理栄養士 柳 絢子



災害対策本部 左前:片岡院長 中央:野口看護部長



被害状況確認の様子



トリアージエリア



赤色(重傷)エリア



黄色(中傷)エリア

2025年11月22日(土)

南海トラフ巨大地震を想定した 大規模災害訓練を終えて

昨今、自然災害は頻発しており、2024年の能登半島地震では当院も大阪府医師会の要請を受け、災害医療チームが現地で医療活動を行いました。

30年以内の南海トラフ巨大地震の発生率が60～90%へ引き上げられた現状を踏まえ、地域医療を守るために今年度も大規模災害訓練を実施しました。訓練は南海トラフ巨大地震を想定し、災害対策本部の立ち上げから診療エリアの設置、模擬的な医療対応まで行いました。今年度策定したBCPに基づく被害状況報告書やアクションカードを用い、実際の災害対応場所で実施することで、昨年度よりもさらに実践的な内容となりました。

本訓練を通じて、院内スタッフの役割認識やトリアージタグの使用方法など、災害時に必要な知識と技術を共有し続ける重要性を再認識しました。今後も定期的な訓練を継続し、迅速かつ的確な対応ができる体制を院内全体で強化していきたいと考えています。

BCPとは

Business Continuity Planの略。

地震などの自然災害やシステム障害、緊急事態に遭遇した場合に、事業継続のための方法や手段を取り決めておく計画のこと

クリティカルケア特定認定看護師
ER リーダー
西川 香織

ベルランド総合病院へのアクセス

電車とバスをご利用の場合

南海泉北線「深井駅」より

泉ヶ丘行き・あみだ池行き

東中学校前バス停下車・・・徒歩1分

北野田駅前行き

高山バス停下車・・・徒歩5分

南海高野線「北野田駅」より

東山車庫前行き・深井駅行き・鳳駅前行き

高山バス停下車・・・徒歩5分



送迎バスのご案内

泉ヶ丘駅/北野田駅/中百舌鳥駅/深井駅/
金剛駅/梅・美木多駅/光明池駅の7駅から発着

中百舌鳥駅 送迎バス発着場



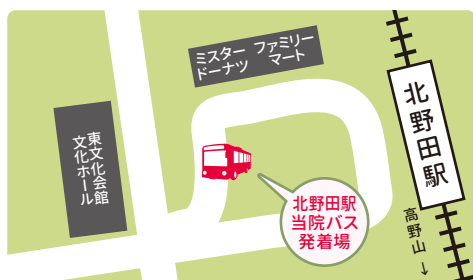
泉ヶ丘駅 送迎バス発着場



深井駅 送迎バス発着場



北野田駅 送迎バス発着場



金剛駅 送迎バス発着場



光明池駅 送迎バス発着場



梅・美木多駅 送迎バス発着場



※各路線日曜・祝日は運行致してありません。

運行経路途中にて、ご乗車・お降りの方は、手を上げて運転手にお知らせ下さいませようお願い申し上げます。

尚、到着時刻は予定通過時間ですので余裕をもってお待ち下さい。渋滞等の諸事情により、やむをえず延着・運休する場合があります。



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

発行日：2026年2月1日

発行：ベルランド総合病院 地域医療連携室

〒599-8247 大阪府堺市中区東山500番地3

TEL 072-234-2001(代) <https://www.seichokai.or.jp/bell/>



※送迎バスのダイヤは当院ホームページ「交通アクセス」よりご確認ください。